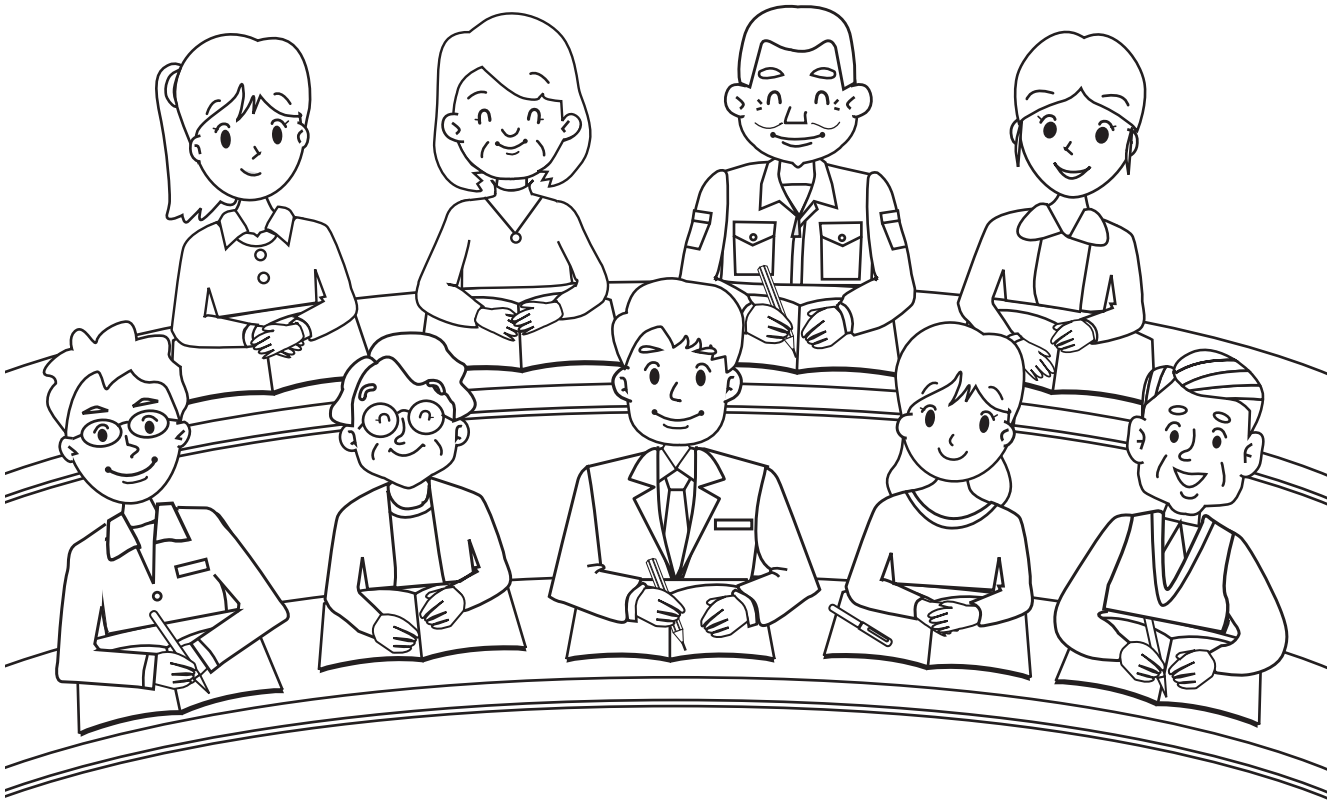


令和3年度 共同授業学生募集案内



ふじのくに地域・大学コンソーシアム
西部地域連携事業実施委員会 共同授業部会

共同授業参加大学

静 岡 大 学
静 岡 文 化 芸 術 大 学
常 葉 大 学
聖 隷 クリ ス ト フ ァ ー 大 学
浜 松 学 院 大 学 ・ 短 期 大 学 部
静 岡 理 工 科 大 学
静 岡 産 業 大 学

単位認定校／浜松学院大学

◇目次

- 共同授業について ----- P 1
- 出願手続きについて ----- P 2～P 3
- ガイダンスについて ----- P 4
- 共同授業の内容について ----- P 4～P 5
- 会場案内について ----- P 6
- 講義概要について ----- P 7～P 14
- 問い合わせ先について ----- P 15

◇共同授業について

○共同授業は、ふじのくに地域・大学コンソーシアム西部地域連携事業実施委員会共同授業部会に参加する7大学（以下「共同授業参加大学」という。）が協力して、共同で行う授業です。

○授業は、共同授業参加大学の教員が担当講師となり、オムニバス形式で行います。

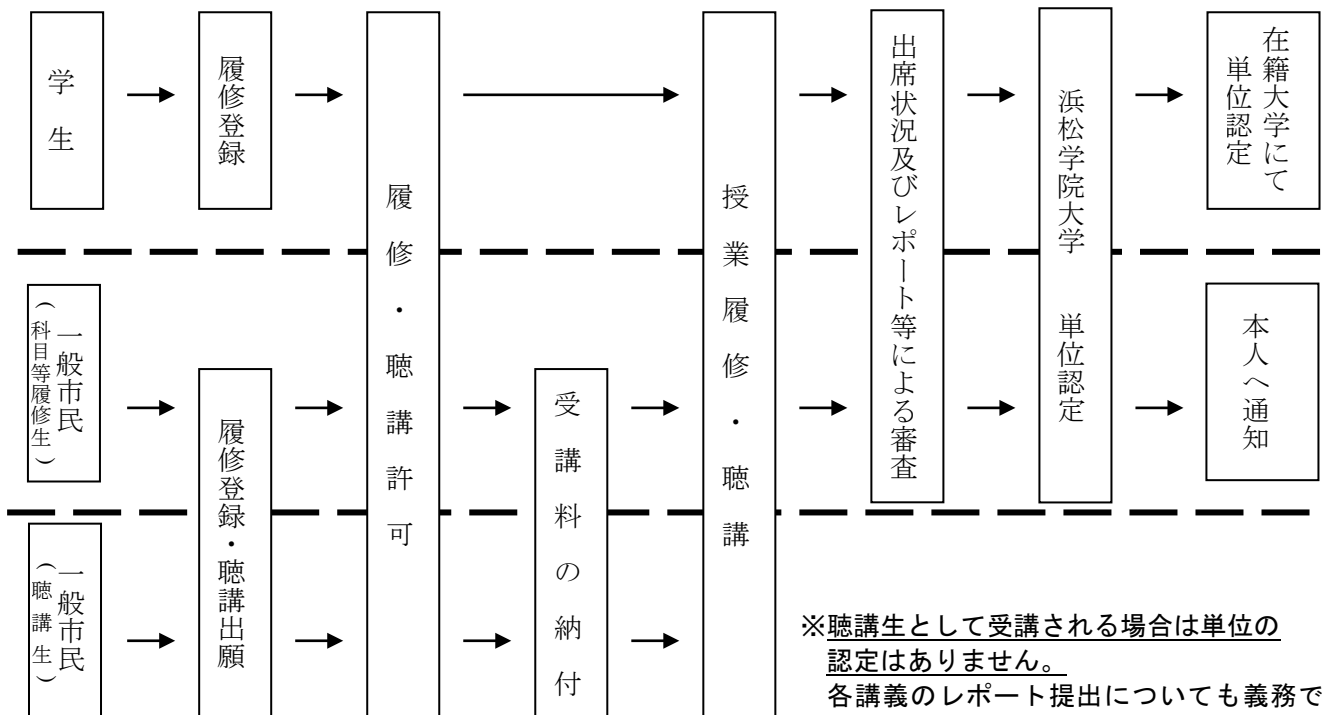
○レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば単位の修得ができます。

（ただし、一般市民の方が「聴講生」として受講する場合、単位の認定はありません。）

○共同授業参加大学の教員や学生、市民の方々に交流の場を提供します。

〈共同授業の聴講及び単位認定までの流れ〉

○令和3年度の共同授業は、浜松学院大学が単位認定校です。



◇学生の出願手続きについて

1 申込者の資格

○以下の共同授業参加大学に在籍している学生

静岡大学
静岡文化芸術大学
常葉大学
聖隷クリストファー大学
浜松学院大学・短期大学部
静岡理工科大学
静岡産業大学

2 出願方法・期間等

- 出願は在籍する大学の履修登録窓口で受け付けます。
- 在籍する大学の定める期間内に「共同授業出願票」を提出してください。

3 履修許可

- 履修許可は、在籍する大学を通して通知します。なお、申込者多数の場合は、抽選等を行う場合があります。
- 許可を受けた方は、授業初日の10月2日（土）9時15分に行われるガイダンスに必ず出席のうえ、授業を受けてください。

4 単位の認定

- レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば、浜松学院大学の「総合科目Ⅱ」（2単位）の単位を修得できます。また、当該修得単位は、在籍する大学でこれに相当する科目の単位として認定することもできます。（下表参照）

共同授業参加大学	単位認定科目
静岡大学	学際科目「人間と環境」
静岡文化芸術大学	「人間科学特論」又は「特別共同授業A」
常葉大学	「総合科目A」又は「総合科目B」
聖隷クリストファー大学	「大学間交流授業」
浜松学院大学	「総合科目Ⅱ」
浜松学院大学短期大学部	「総合科目A」又は「総合科目B」
静岡理工科大学	「特別共同講義」
静岡産業大学	「特別共同講義」

※在籍する大学での単位認定については、履修登録窓口にお問い合わせください。

◇一般市民の出願手続きについて

1 申込者の資格

高校卒業もしくは同等の学力を有すると認められる方

2 受講種別

○科目等履修生（履修登録料 22,000 円）

レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば、浜松学院大学の単位を修得できます。

○聴講生（聴講料 8,000 円）

授業の聴講のみで単位の認定はありません。各講義のレポート提出についても義務ではありませんが、学生及び科目等履修生と一緒に積極的に取り組んでみてください。

3 出願方法・出願期間等

○出願期間 令和3年7月5日（月）～7月30日（金）

※土・日・祝日を除く。受付時間は8時30分～17時00分

○出願書類 「共同授業出願票」

○提出先 静岡大学 浜松教務課共通教育係（郵送でも構いません。）

〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1022 FAX 053-471-0249

※出願等についてご不明な点は上記までお問い合わせください。

4 履修許可・聴講許可・手続き

○履修許可・聴講許可は、8月下旬に通知（郵送）します。なお、申込者多数の場合は、抽選等を行う場合があります。

○許可通知を受けた方は、次の手続きを行ってください。

科目等履修生の方は履修登録料（22,000 円）を、聴講生の方は聴講料（8,000 円）を9月10日（金）までに次の指定口座にお振込みください。

【振込先】

スルガ銀行 静岡県庁支店 普通預金 1705055

シャ.フジノクニチイキダイガクコンソーシアム

※振込人名は、履修者・聴講者本人名にてお願いします。

※振込手数料は各自でご負担いただくようお願いします。

5 単位の認定

○科目等履修生の方は、レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば、浜松学院大学の「総合科目Ⅱ」（2単位）の単位を修得できます。

○聴講生の方は、単位の認定はありません。

◇ガイダンスについて

日 時：令和3年10月2日（土）9：15～9：30

会 場：静岡文化芸術大学（浜松市中区中央2-1-1 TEL 053-457-6114）

教室は、履修許可通知を送付する際（8月下旬予定）に案内します。

○受講における注意事項などについて説明しますので、必ず出席してください。

◇共同授業の内容について

- 1 開講期間 令和3年10月2日（土）～令和3年12月4日（土）のうち8土曜日
- 2 講義会場 静岡文化芸術大学（各回の教室はガイダンスにて連絡します。）
- 3 講義テーマ 「人間と環境」－静岡の未来とSDGs－
- 4 講義日程 9：30～12：40（第1回のみ9：15よりガイダンスを実施）

回	期日	講義回数	担当講師
			講義テーマ
第1回	10月2日 （土） 特別公開講座	ガイダンス	9：15～9：30
		第1講 第2講	一般社団法人中部SDGs推進センター 代表理事 戸成司朗 SDGsの歴史的意義と企業、行政に求められるもの
第2回	10月9日 （土）	第3講 第4講	静岡文化芸術大学 文化政策学部 准教授 武田淳 脱魔術化する世界とSDGs －映画『天気の子』から考えるSDGsの誕生
		第5講 第6講	静岡産業大学 経営学部 教授 熊王康宏 感性“ミライ”デザイン学
第4回	10月23日 （土）	第7講 第8講	静岡大学 工学部 教授 福田充宏 暮らしと冷凍空調機器
		第9講 第10講	浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 教授 大野木龍太郎 持続可能な子ども社会にしていくために地域と学校の 在り方を探る
第6回	11月13日 （土）	第11講 第12講	静岡理工科大学 理工学部 准教授 石川春乃 静岡の地域特性に適した学習環境のありかた
		第13講 第14講	聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 教授 鈴木光男 子供と目指す未来のゴール
第8回	12月4日 （土）	第15講 第16講	静岡大学 情報学部・未来社会デザイン機構 教授 吉田寛 静岡大学から考える静岡の未来社会
		予備日 1	12月11日 （土）
予備日 2	12月18日 （土）		臨時休講が発生した場合の予備日2

○講義時間は、①9:30～11:00(90分)、②11:10～12:40(90分)となります。

○上記の講義日程は会場校（静岡文化芸術大学）または講師の都合により変更となることがあります。

5 評価方法（聴講生を除く）

- (1) 授業の評価は、次の①②により、レポートの点数の合計に基づき、ふじのくに地域・大学コンソーシアム西部地域連携事業実施委員会共同授業部会が行います。
- ① 全講師が1レポートを課し、1レポート10点満点で採点します。
 - ② 全8回分を合計したもの（80点満点）に、1.25をかけて100点満点に換算し（小数点以下は切り上げ）、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）で評価します。
 - ③ 次のア・イの両方を満たす場合に限り、優・良・可の者に単位を認定します。
 - ア 全16講（全8回×2講）のうち10講以上の出席
 - イ レポート提出が全8回のうち5回以上で、上記②で可以上の評価
- (2) 共同授業部会による授業の評価を受けて、単位認定校（浜松学院大学）が単位修得に関する証明書を交付します。
- (3) なお、共同授業参加大学の学生は、その後、所属大学が最終的な評価を行います。その方法や必要な手続き等については所属大学の担当部署に確認してください。

6 臨時休講に関する措置について

以下の(1)～(5)に該当する場合は、臨時休講とします。

- (1) 当日の午前7時から午前9時の間で、静岡県西部、中部あるいは愛知県東部のいずれかに「暴風警報」または「南海トラフ地震関連解説情報」が発令・発表されているときは、当日すべての授業を休講とする。
- (2) 午前9時以降（第1限目講義中含む）に、静岡県西部、中部あるいは愛知県東部のいずれかに、「暴風警報」または「南海トラフ地震関連解説情報」が発令・発表されたときは、第1限目を開講し、その終了後、第2限目の授業を休講とし、別の日に補講をする。
- (3) 午前7時時点でJR東海、遠鉄電車、遠鉄バスのストライキが解除されていない場合は当日すべての授業を休講とする。なお、午前7時までにストライキが解除された場合は、平常通り授業を行う。
- (4) 交通機関により計画的な運休が発表された場合、対象路線や運休期間等の発表内容に基づき、休講とすることがある。
- (5) 上記以外の場合でも授業を行うことが困難な場合は休講とすることがある。

※上記の地域区分は次のとおりで、気象庁の発表区域に基づいています。

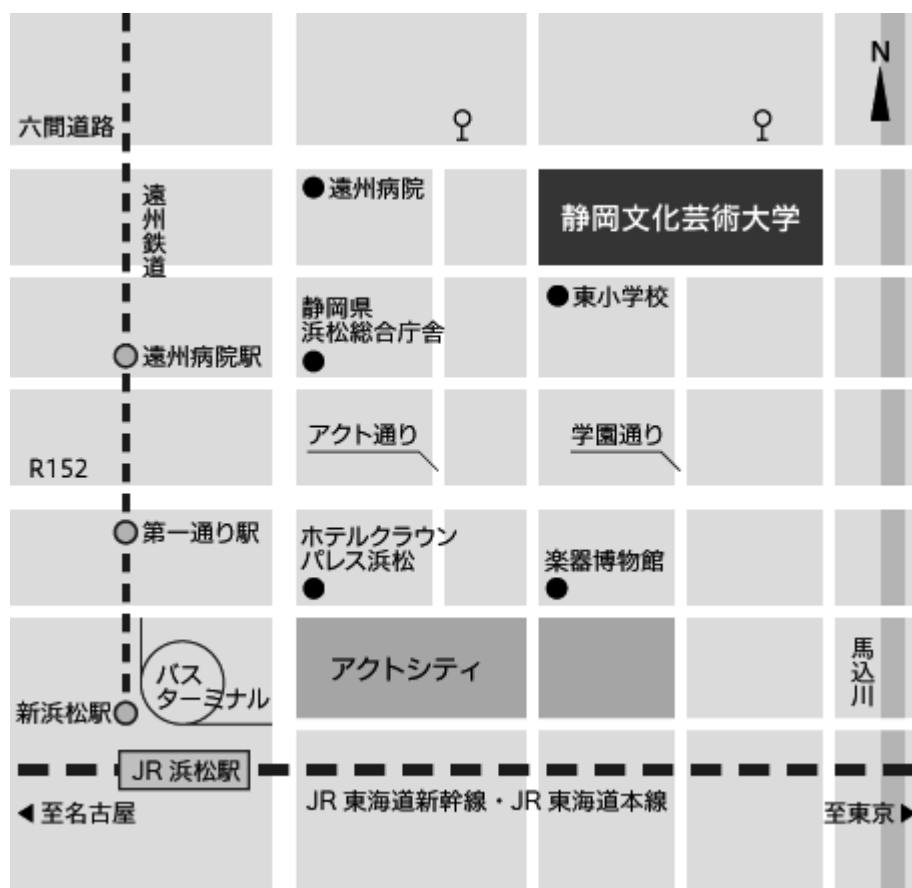
（気象庁WEBページ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>）

静岡県西部…遠州北（浜松市北部）、遠州南（浜松市南部、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町）

静岡県中部…中部南（静岡市南部、島田市、焼津市、藤枝市、牧野原市、吉田町）
中部北（静岡市北部、川根本町）

愛知県東部…西三河北東部（豊田市東部）、東三河北部（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）、東三河南部（豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市）

◇会場案内について



静岡文化芸術大学

〒430-8533 浜松市中区中央2-1-1

TEL 053-457-6114 (担当：教務・学生室)

JR浜松駅から徒歩約15分

遠州鉄道「遠州病院駅」下車、徒歩8分

【浜松駅からバスをご利用の場合】

遠鉄バス（10分間隔で運行しています）

浜松駅北口バスターミナル10番のりば

バス停「文化芸術大学」下車

注：10番のりばから出ているバスは、「文化芸術大学」バス停を通ります。ただし、系統番号70番「子安・笠井行」・系統番号2番「早出・イオン市野行」を除きます。

※会場に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

◇講義概要について

※ 講義は原則対面形式で実施しますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によってはオンライン形式に切り替えることがあります。

第1回〈第1・2講〉 令和3年10月2日（土） 9：30～12：40

【特別公開講座】

◆講 師 一般社団法人 中部SDGs推進センター 代表理事 戸成 司朗と なり し ろ う

◆講義テーマ SDGsの歴史的意義と企業、行政に求められるもの

◆講義内容

After コロナは新たな社会に変わるのではなく、障壁によって遅れていた「SDGsの目指す社会」「デジタル社会」に向けて加速する。

今こそ、企業、行政は「2030年のあるべき姿」を描き未来から選ばれる企業や地域にならなければなりません。そのために、どの様な視点で考え、どこに投資をしなければならないかをわかりやすく解説いたします。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

◆参考図書等
なし

◆Eメールアドレス
tonari@chub-sdgs.com

【講師プロフィール】

◆専門分野
CSR 経営

◆主な研究テーマ
-

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【著書】

・After コロナでのSDGs…企業は如何に動くべきか～生活と働き方に与える影響を中心に～、会報「愛知経協」Vol. 850（愛知県経営者協会）、2021年1月

【社会活動等】

SDGs EXPO あいち副会長、中部圏SDGs広域プラットフォーム副会長

◆講師 静岡文化芸術大学 文化政策学部 准教授 ^{たけだ じゅん} 武田 淳

◆講義テーマ 脱魔術化する世界とSDGs—映画『天気の子』から考えるSDGsの誕生

◆講義内容

SDGsはどのようにして誕生し、なぜ世界共通の目標へと昇華したのか。講義では、SDGs成立の背景を解説する具体的な手がかりとして、新海誠監督の映画『天気の子』を参照する。授業では、映画の内容についてグループディスカッションを行いながら、なぜ、社会はSDGsを必要としたのかを考える。

*著作権の都合上、オンライン開催となった場合は内容を変更する場合があります。



◆参考図書等

映画『天気の子』（監督：新海誠 2019年）を必ず視聴した上で参加してください。映画の内容をもとにディスカッションを行います。

◆Eメールアドレス

j-takeda@suac.ac.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

文化人類学（開発人類学）

◆主な研究テーマ

持続可能な開発、国際協力（フェアトレードなど）

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【著書】

- ・消費を通じたSDGsへの貢献—『環境化するフェアトレード』を事例に、『人間と環境』46(3) pp.36-40、2020年
- ・『平和でないと観光は成り立たない』という言説は正しいか？—治安と観光の関係性をめぐる試論、『日本国際観光学会自由論集』4 pp.50-45、2020年
- ・コスタリカのウミガメ観光における地域ガバナンス—積極的平和構築のツールとしての観光研究へ向けて、『日本国際観光学会論文集』25 pp.7-14、2018年

【社会活動等】

日本環境学会 常任幹事、日本フェアトレードフォーラム フェアトレード大学委員会委員

◆講師 静岡産業大学 経営学部 教授 熊王 康宏 くまおう やすひろ

◆講義テーマ 感性“ミライ”デザイン学

◆講義内容

地場産業における“もの”は、人の感性に依存しており、これにより“ものづくり”が進められている。“もの”がもたらす複雑な評価の関係性を感性評価の結果から紐解き、地場産業の経営に照らし合わせることで、多くの“ものづくり”に貢献できる。単なる未来では無く、人々の暮らしをより良く適える“ミライ”を感性の力で解決できる「感性“ミライ”デザイン学」について学ぶ。



◆参考図書等

熊王康宏：においと香りの表現辞典、東京堂出版、pp256、2019年

◆Eメールアドレス

kumaoh@ssu.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

経営工学、感性評価、マーケティング

◆主な研究テーマ

グラフィカルモデリング、曲線描画法による感性評価研究

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

- ・食品の感性評価における潜在構造分析、日本経営工学会 経営システム pp. 18 - 24、2016年
- ・感性評価による温州ミカンの経時変化における潜在構造と購買評価に関する研究、日本感性工学会 pp. 29-34、2017年

【著書】

- ・感動と商品開発の心理学、朝倉書店 pp196、2011年
- ・においと香りの表現辞典、東京堂出版 pp256、2019年
- ・戦略的感性商品開発の基礎—経験価値/デザイン/実現化手法/ブランド・経営、海文堂、pp192、2019年

【社会的な活動等】

森町地方創生・総合戦略有識者委員会委員、森町総合計画審議会委員、「遠州の小京都まちづくり推進会議」委員、磐田市創業支援ネットワーク会議委員

◆講 師 静岡大学 工学部 教授 ^{ふくた みつひろ} 福田 充宏

◆講義テーマ 暮らしと冷凍空調機器

◆講義内容

我々の暮らしにおいて、冷蔵庫やエアコンといった冷凍空調機器はなくてはならないものであるが、一方で冷媒として使われるフロンは地球温暖化係数が高く、また、それらを運転するのに大きなエネルギーを必要としている。この講義では、冷凍空調装置のしくみ、エネルギーの使用、省エネルギー化、これからの冷媒等について解説をする。



◆参考図書等

特に指定しない

◆Eメールアドレス

fukuta.mitsuhiro@shizuoka.ac.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

流体工学, 冷凍空調工学

◆主な研究テーマ

冷凍空調装置内の現象解明, 計測装置の開発

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

- ・ Wettability of metal surface with oil/refrigerant mixture Int. J. Refrigeration, 119, pp.131-138, 2020. 他

【著書】

- ・ Refrigeration compressor, JSRAE, 2018 他

【社会的な活動等】

各種財団助成審査委員、冷凍空調分野の講習会講師、学生フォーミュラ大会実行委員 他

◆講 師 浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 教授 おののぎ りゅうたろう 大野木 龍太郎

◆講義テーマ 持続可能な子ども社会にしていくために地域と学校の在り方を探る

◆講義内容

「子どもは社会の宝」と言われますが、将来の労働力としてしか扱われていないのではないのでしょうか。将来のために今を頑張るのではなく、子ども期にこそ体験させたい文化や学びをたっぷりと保障していくことが、学校と地域の役目ではないのでしょうか。子どもの遊び、スポーツの世界から、子どもの今に迫ります。



◆参考図書等

「大学を拠点にスポーツを通して地域の子どもの居場所づくりの実践的研究—子どもが変れば親も変わる」平成29年度ふじのくにコンソーシアム地域貢献事業報告書（浜松学院大学図書館所蔵）

◆Eメールアドレス

onogi@hamagaku.ac.jp

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

子どもと社会教育、子どもとスポーツ

◆主な研究テーマ

ポストコロナ時代の子どものスポーツ環境（地域スポーツと部活動）

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

・部活動のこれから 主体者形成の視点から、たのしい体育・スポーツ2019年夏号（学校体育研究同志会編 創文企画発行）

・東日本大震災に浜松の大学生はどう向き合うか、日本公民館学会年報第12号、2015年

【著書】

・21世紀の学校と教師、（学文社）第12章学校5日制・部活動と教師の役割（分担執筆）

【社会的な活動等】

浜松市青少年の家運営委員長、浜松市オリンピック・パラリンピック教育推進運営協議会副委員長、浜松市民アカデミー講師、日本スポーツ協会公認少年スポーツ指導員、

◆講 師 静岡理科大学 理工学部 准教授 いしかわ はるの 石川 春乃

◆講義テーマ 静岡の地域特性に適した学習環境のありかた

◆講義内容

全国的にも極めて低かった静岡県の小中学校普通教室冷房設置率は、2018年の酷暑を機に急速に上昇した。更に、コロナウイルス対策として換気が必要量求められ、学習環境の運用は、ますます細やかさを求められる。こうした対策の実施を学校現場の教員に求めるのか。継続的な小学校実測を基に、これからの学習環境のありかたを考察する。



◆参考図書等

-

◆Eメールアドレス

ishikawa.haruno@sist.ac.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

建築環境工学

◆主な研究テーマ

ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）、学習環境の快適性とエネルギー消費の均衡、公共施設の環境マネジメント、エネルギーの地産地消、等

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

- ・公立学校の ZEB 実現に向けた運用実態調査と課題 その4 温暖地における新規空調設備導入校の調査、日本建築学会大会学術講演梗概集、2020
- ・地方部の公立小学校の実態に関する調査研究 その3 教室冷房未導入の現況エネルギー消費量と導入後の ZEB 化検討、日本建築学会大会学術講演梗概集、2019
- ・空調設備を導入した都市部の公立小学校におけるエネルギー消費量の実態、日本建築学会環境系論文集、2018

【社会的な活動等】

- ・静岡県森林審議委員、静岡県地方港湾審議委員
- ・静岡市大規模小売店舗立地審議会 委員
- ・浜松市森林・林業未来構想会議委員/大規模小売店舗立地審議委員
- ・袋井市行政改革審議委員

◆講 師 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 教授 ^{すずき みつお} 鈴木 光男

◆講義テーマ 子供と目指す未来のゴール

◆講義内容

貧困・環境・人権と世界中が直面している課題は、子供たちも無縁ではありません。とは言え、子供と目指す未来のゴールについては大人たちの責任ももちろん重大です。どのような世界を、未来を子供にギフトしていくのかを考え、改めてグローバルに考えローカルに行動する子育て・教育について受講者と検討し共有していきます。



◆参考図書等

- ・「プラスチックモンスターをやっつけよう！きみが地球のためにできること」クレヨンハウス
- ・「ドローダウン地球温暖化を逆転させる100の方法」山と溪谷社

◆Eメールアドレス

mitsuo-s@seirei.ac.jp

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

教科教育学(美術教育)・学校教育学

◆主な研究テーマ

感性と創造性の育成を中核とした授業デザイン、学校・地域・保護者連携のコミュニティスクール・コミュニティデザインの模索

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

- ・「S-HTP法によるカンボジアの幼児・児童の描画活動に関する実証的研究(Ⅰ)」, 比較文化研究No.139, 日本比較文化学会, 2020年
- ・「カンボジア初等教育段階での日本の美術教育支援の実績と成果に関する調査～S-HTP法による児童の描画活動の成果に着目して」比較文化研究 No. 135, 日本比較文化学会, 2019年

【著書】

- ・『美術教育概論〈新訂版〉』大橋功・新関伸也・松岡宏明・藤本陽三・佐藤賢司・鈴木光男・清田哲男編著, 日本文教出版
- ・『子どもの絵』日本文教出版

【社会的な活動等】

日本実践美術教育学会副会長、NPO AI 技術研究ネットワーク理事、磐田市立磐田中部小学校 CS コーディネーター、磐田市立磐田中部小学校学校運営協議会委員、磐田市立磐田一中学校学校運営協議会委員

◆講師 静岡大学 情報学部・未来社会デザイン機構 教授 ^{よしだ ひろし} 吉田 寛

◆講義テーマ 静岡大学から考える静岡の未来社会

◆講義内容

静岡大学では、2020年より「未来社会デザイン機構」という組織を作って、各地の市民や学校、企業、役場とネットワークを築きながら、静岡県の未来を描き出し、それに向かって進む活動を推進しています。この講義では、その考え方や活動を紹介した上で、静岡大学が地域とともに描き出す静岡の未来と、それを実現するための課題などを考えたいと思います。

◆参考図書等

- ・広井良典「人口減少社会のデザイン」東洋経済新報社 2019年
- ・「SDGsの実践 自治体・地域活性化編」村上周三・遠藤健太郎・他、事業構想大学院大学 2019年
- ・「マンガでわかる SDGs」SDGsビジネス総合研究所 2019年



◆Eメールアドレス

yoshida@inf.shizuoka.ac.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

哲学、情報社会思想、ガバナンス論

◆主な研究テーマ

20世紀の哲学者ウィトゲンシュタインの言語哲学をベースに、情報社会としての現代社会における人間らしい社会づくりの思想を研究している。言語哲学のほか、情報社会思想の批判的研究、まちづくりや震災復興の実践的研究に携わってきた。現在は、静岡大学の「未来社会デザイン機構」の企画推進本部において、静岡の地域に根差しつつ未来を構想し共創していくガバナンスの実現に注力している。

◆主な論文、著作、社会的な活動等

【論文】

- ・「世界表象としてのビッグデータとビッグデータ・ガバナンス ～ 局所表象と分散表象の観点から～」『社会情報学』、2017年、pp.113-126

【著書】

- ・分担執筆『ともに生きる地域コミュニティ 超スマート社会を目指して（横幹<知の統合シリーズ>）』東京電機大学出版局、2018年
- ・共編著『「思い出」をつなぐネットワーク 日本社会情報学会災害情報支援チームの挑戦』昭和堂、2014年
- ・単著『ウィトゲンシュタインの「はしご」——『論考』における「像の理論」と「生の問題』』ナカニシヤ出版、2009年

【社会的活動】

- ・オープンカフェ（情報学部珈琲研究会）（2012年～現在）情報学部や浜松キャンパスにおけるインフォーマルでオープンな学術的交流の機会を、学生と共に「カフェ」（公共圏）として提供。
- ・宮城県山元町災害復旧・復興支援活動（2011年3月～2014年3月）JSIS-BJK 災害情報支援チーム（社会情報学会有志で結成）による被災地支援活動（IT利用支援、コミュニティラジオ支援、被災写真返却プロジェクト、パソコン教室、同好会支援等）

◇お問い合わせ先について

▼共同授業全般に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

※学生の皆さんは、在籍する大学へお問い合わせください。

■単位認定校

浜松学院大学・短期大学部 学務グループ
〒432-8012 浜松市中区布橋 3-2-3
TEL 053-450-7000
FAX 053-450-7110

■共同授業部会事務局

常葉大学 浜松教務課
〒431-2102 浜松市北区都田町 1230
TEL 053-428-3511
FAX 053-428-2900

■大学事務局

静岡大学 浜松教務課共通教育係
(一般市民出願受付担当) TEL 053-478-1022

静岡大学 浜松教務課情報学部教務係 TEL 053-478-1511

静岡文化芸術大学 教務・学生室 TEL 053-457-6114

聖隷クリストファー大学 教務事務センター TEL 053-439-1433

静岡理工科大学 学務課 TEL 0538-45-0113

静岡産業大学 磐田学務課 TEL 0538-37-3852

■行政

浜松市企画調整部企画課 大都市制度・広域行政
〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2
TEL 053-457-2086
FAX 050-3730-1867

磐田市秘書政策課
〒438-8650 磐田市国府台 3-1
TEL 0538-37-4805
FAX 0538-36-8954

袋井市企画部企画政策課
〒437-8666 静岡県袋井市新屋 1-1-1
TEL 0538-44-3105
FAX 0538-43-2131